

## 一般社団法人 新CAS協議会 設立趣意書

テレビのデジタル化、大画面化に伴い、高精細でよりリアルな臨場感を享受することに対する視聴者ニーズが高まっています。総務省が取りまとめた「4K・8K推進のためのロードマップ」（2015年7月公表）では、2018年には「4K」、「8K」の実用放送が行われ、東京オリンピックが開催される2020年には、多くの視聴者が市販のテレビで4K・8K番組を楽しんでいる状況が目標として掲げられています。

こうした目標のもと、現在官民挙げて4K・8K普及展開に向けた取り組みが行われているところですが、既に4K対応テレビや、カメラ、業務用プロジェクターといった「4K対応機器」が市場に普及し始めており、放送業界としても速やかに超高精細ニーズに対応していくことが求められています。

4K・8K放送の本格的な普及に向けては、そのコンテンツを適切に保護し、制作者と視聴者がともに安心してコンテンツを楽しめる環境を整備することが重要となります。そのためには、新しいCASの仕様検討を進め、適切な普及展開をはかり、放送業界全体でそれを効率的に運営していくことが必要と考えます。

そこで、設立発起人は、4K・8K放送時代に即したコンテンツ保護管理のあり方を検討し、その技術的な方式ならびにセキュリティ要件の管理運営のあり方を策定することを目的とした新たな法人を設立するものです。

平成27年8月1日

### 設立発起人

スカパーJSAT株式会社	取締役副社長	仁藤 雅夫
株式会社スター・チャンネル	代表取締役社長	木田 由紀夫
日本放送協会	理事	井上 樹彦
株式会社WOWOW	専務取締役	橋本 元